

ゆっくりとした成長を楽しんでいます

【自閉症スペクトラム】 9歳 男子

息子は3歳で広汎性発達障害の疑い、6歳で自閉症スペクトラムと診断されました。

1歳半の頃から目線が合わない事が気になりはじめ、単語もなかなか出ない。場所・洋服・靴・食べ物、全ての最初の1回目を激しく泣いて抵抗。でも2回目となるとすんなり受け入れる。まだ息子の感情を読み取ることも、難しく「何が嫌なの、何で泣いているの」と毎日必死に向き合い途方にくれる日々。でも、そんな息子は音楽が流れているとすごく穏やか。機嫌のよい時には体を揺らしながら音楽を楽しんでいたのです。好きな事の幅を広げたい。聞くだけでなく触れさせたい。「ピアノを弾かせたい」この頃の私の夢となりました。

療育に関わってからの息子は、ゆっくりですが確実に成長している姿を見せてくれて、何を言いたいのか何を求めているのか、私も息子との関わり方がわかるようになってきました。

少し落ち着いた5歳。ピアノ教室へ通うことに決めました。少しずつレッスンを重ね初めての発表会。今でも忘れません、大勢の人の前に立ち練習してきた曲を演奏。沢山の拍手を頂いた息子は今まで私が見た事のないくらいに喜び、テンションMAX満開の笑顔で本当にキラキラと光ってました。

「障がいがあるから無理」「障がいがあるから出来ない」親の私が決めてはいけないと決心した1日でした。今では家族・学校の先生方・放課後デイの先生方・言語リハビリの先生・ピアノの先生・同じ悩みをもつママ達・経験豊富な先輩ママ、沢山の方々が息子に関わって頂き一緒に成長を見届けてくれています。

まだまだ悩みはなくなる事はありませんが、そんな時はふと思い出したりします。あんなに悩んでいた場所見知りも、1回では着てくれなかった洋服や靴も今では平気。あんなに目線が合わなかったのに今では目を見て笑ってくれます。問いかけてくれます。

ピアノだって両手で弾けるようになりました。ゆっくりだけど確実に成長してる。大丈夫。そう思うとまた一歩進めるのです。



「将来にむけてひとつずつ」

【染色体異常】 6歳 男子

我が家の息子は3きょうだいの末っ子。

染色体異常があり、精神運動発達遅滞・自閉症・てんかんなどを持つ現在、特別支援学校に通う1年生です。彼は体も小さく話すことはできませんが、頑張り屋さんでいつもニコニコ、日々まわりを癒してくれる存在です。そんな彼に私は、生後すぐから違和感があり、得体のしれない不安に日々パソコンで検索をしまくっていました。

彼がちょうど1歳になったころに、ここ飯塚に引っ越してきました。親も知り合いもない中、引っ越して真っ先にしたことが市の保健師さんへの連絡でした。そこから、療育につながり、同じような境遇の先輩お母さん方との出会い、信頼できる支援員、先生方などたくさんの方々の支えがあって今があります。

もちろん、綺麗ごとばかりではありません。病気がわかるまでは、「この子は一体何なんだろう」と“かわいい”と思う余裕もありませんでした。将来を悲観して、鬱々とした日々を過ごしたこともあります。けれど、彼は彼なりのペースでゆっくり成長をしているのです。最近では自分の意思を発声やジェスチャーで伝えてくるようになり、ときには反抗的な態度をとったりと、そんな姿が本当に愛しいです。

将来のこと、病気のこと、今後もいろいろな課題はあります。困難な問題にぶつかることも多々あるでしょう。しかし、彼が将来自立できること、彼らしく過ごせることができることを目標に、周りの方々の手もお借りしながら、今私たちが出来ることを一つずつクリアしていきたいと思います。

